



人生の最期まで 寄り添う医師でありたい

日本医師会は、
医師と患者さんとそのご家族が
互いに信頼し合える関係を
築いていくことを目指しています。

皆さんも
何でも相談できる
かかりつけ医を見つけ、
ご家族なども交えながら、
自身の終末期について
一度考えてみませんか。



翌朝5時過ぎに携帯が鳴った。「お父さんが吐血した。今日が峠らしい。」姉が泣いている。駆けつけるはまだ意識ははっきりしていた。(中略) 家族がベッドを囲み、間に合わない孫達は電話越しに「ありがとう。」「頑張ったね。」「大好き。」とそれぞれの想いを告げ、大好きな母が手を握りしめ、父は静かに人生の幕を閉じた。昨日の誕生会からわずか十数時間後だった。家で死にたいと言った父はそれを叶える事が出来た。それは患者と家族に寄り添う医療と出会えたからだだった。父の普段通りの生活を理解し受け入れ、治す治療だけでなく、「今日も花がキレイだね。」と自慢の庭を褒め、世間話をしながら父の人生最期の生活に家族と共に寄り添って下さった方々のお陰だ。



第2回受賞作品(一般の部 日本医師会賞)より抜粋

「人生の終い方」

鶴田 智子(福岡県 52歳)

※日本医師会HPで全文を読むことができます。

かかりつけ医をもちましよう

日本医師会
Japan Medical Association

<http://www.med.or.jp>